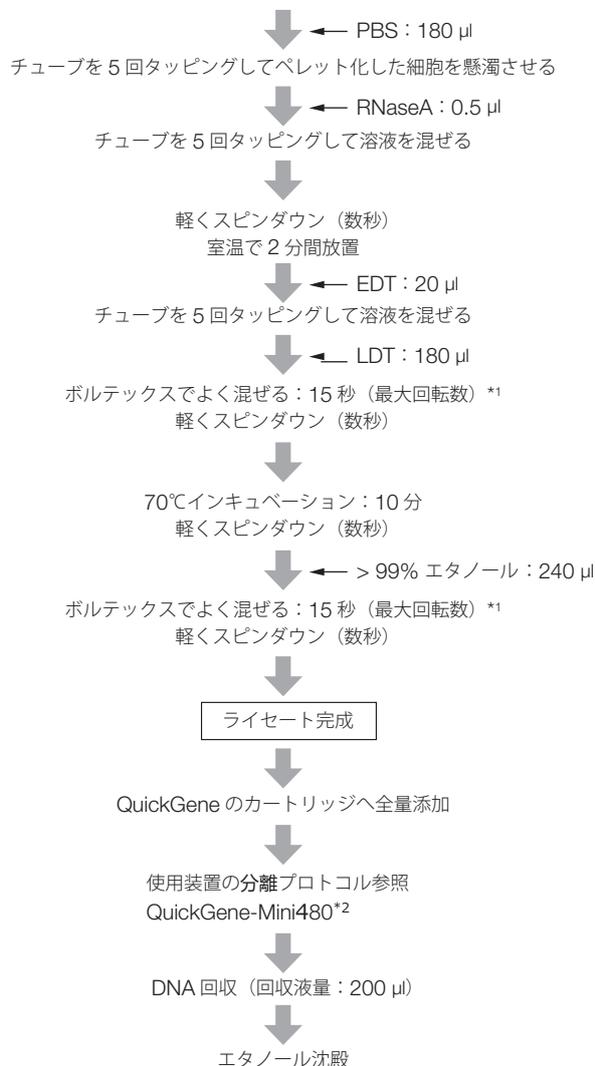


## サル免疫不全ウイルス (SIV) 感染細胞からのウイルスDNA分離

## プロトコル

細胞を 1.5 ml マイクロチューブに回収し、ペレット化する (1.5 ml マイクロチューブ中に $\sim 1 \times 10^6$  個の細胞)



\*1 ボルテックスで完全に混ぜる (最大回転数) ボルテックスで不十分ならばタッピング、ピペッティングあるいは転倒混和で混合

\*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

## ■ 電気泳動図

データなし

## ■ ウイルス DNA の収量 (μg)

感染後時間 (h)	1.5		3		6		24	
ウイルス	mock	SIV	mock	SIV	mock	SIV	mock	SIV
細胞数	$1 \times 10^6$	$1 \times 10^5$	$1 \times 10^6$	$8 \times 10^5$	$1 \times 10^6$	$9.2 \times 10^5$	$1 \times 10^6$	$1 \times 10^6$
QuickGene-810	7.6	7.9	3.0	8.0	4.5	8.0	8.2	7.4
Spin column	3.8	4.3	3.0	2.5	5.4	5.5	4.7	3.4

### ■ タンパク質の混入：A260/280

感染後時間 (h)	1.5		3		6		24	
ウイルス	mock	SIV	mock	SIV	mock	SIV	mock	SIV
QuickGene-810	1.81	1.80	1.79	1.75	1.80	1.80	1.80	1.82
スピнкаラム (A社)	1.85	1.85	1.80	1.81	1.79	1.77	1.81	1.82

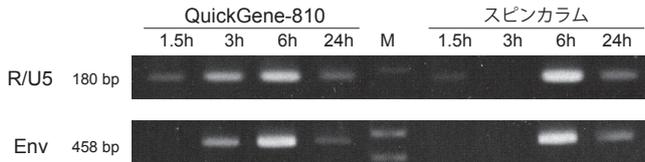
### ■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

### ■ その他

#### ● PCR の AGE・DNA の断片

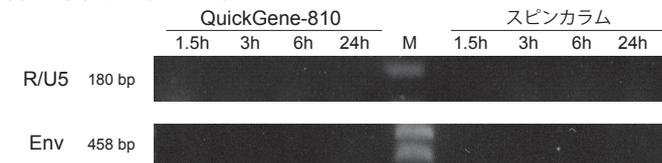
##### SIV 感染細胞



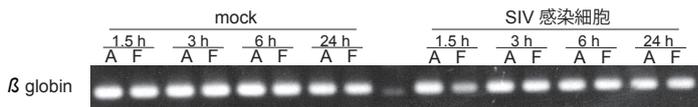
QuickGene システムおよびスピнкаラムを用いて、SIV 感染細胞から分離した DNA 1 µg で PCR を行った。

この PCR の結果、QuickGene-810 システムでは、感染 1.5 および 3 時間後に分離した DNA の増幅産物の電気泳動バンドも検出できた。

##### 非感染細胞 (mock)



M：マーカー (ladder)



F：QuickGene-810  
A：スピнкаラム

### ■ 共通プロトコルサンプル

データなし